

JASDAQ-TOP20 が JASDAQ 市場に上場！

ファイナンシャル・プランナー 伊藤 亮太

12月3日(金)、大阪証券取引所のJASDAQ市場にて新たに「JASDAQ-TOP20 上場投信(1551)」が上場します。

このETFは、JASDAQ市場において、時価総額・成長性・流動性といった要素を総合的に勘案して選ばれた20銘柄で構成された株価指数「JASDAQ-TOP20」と同様の成果を目指すようにつくられた初の上場商品であり、かなりの注目を集めています。

しかも、カブドットコム証券ではフリーETFとして上記ETFに関しては取引手数料が無料、SBI証券や楽天証券では2011年1月31日(月)までの取引手数料に関しては全額キャッシュバックキャンペーンを行うなど手数料部分についても魅力的な商品となっています。

今回はこの「JASDAQ - TOP20 上場投信(1551)」をみていきたいと思います。

JASDAQ - TOP20 上場投信(1551)の概要

項目	内容
正式名称	JASDAQ - TOP20 上場投信
銘柄コード	1551
上場日	平成22年12月3日(金)
管理会社	シンプレクス・アセットマネジメント株式会社
対象指標	JASDAQ - TOP20
純資産総額	5億円～20億円(当初設定)
売買単位	10口(参考:1単位=約15,790円、11月末時点換算)
決算期	7月8日
分配	年1回
運用方法	JADAQ - TOP20 構成銘柄に直接投資することで対象指標に連動させる
信託報酬	0.525%(税抜年0.50%)
信用取引	上場初日から売り・買い共に可能

コラムの無断転写・転載などを禁じます。 -

Copyright © 2010 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

成長性を期待！「JASDAQ - TOP20 上場投信」

今回のETFは、今後の成長が期待できる中小型株式で構成されているとよいでしょう。大阪証券取引所が選定した20銘柄で構成されています。

面白いのが成長性を期待できるという全てが情報通信企業ではないこと。電気機器や小売、銀行、不動産など様々な業種で構成されています。これら20銘柄すべてを1単元ずつ購入するとなるとおおよそ315万円必要になるのですが、このETFではおおよそ16,000円ほどから購入できる見込みですので、大変買いやすい側面がある点も魅力的といえます。

保有時にかかるコストである「信託報酬」もETFならではの安さとなっています。年間で0.525%(税抜0.50%)ですから、通常の投資信託と比較すればかなり割安といえます。しかも信用取引も可能なため、売りから入ることも可能になっています。

下記に今回選定された20銘柄が過去1年間でどの程度のリターンを挙げたのか記載します。

JASDAQ - TOP20		11/25終値データより
銘柄	1年間リターン	
ベクター	572.71%	
日本マクドナルドホールディングス	15.35%	
一建設	データなし	
ガンホー・オンライン・エンターテイメント	39.48%	
ビットアイル	64.13%	
ユビキタス	629.87%	
田中化学研究所	-20.64%	
ポラテクノ	153.11%	
インフォコム	129.51%	
楽天	-6.91%	
ジュビターテレコム	8.45%	
デジタルガレージ	28.95%	
第一精工	2.94%	
ザインエレクトロニクス	-27.85%	
メイコー	-9.14%	
日本マイクロニクス	-24.72%	
フェローテック	30.86%	
第一興商	47.28%	
セブン銀行	-11.55%	
エムティーアイ	-18.25%	
平均	84.40%	

(出所) bloombergデータより抜粋

コラムの無断転写・転載などを禁じます。 -

Copyright © 2010 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

ご覧になってお分かりかと思いますが、中小型株はボラティリティが激しく、大幅に上昇する銘柄もあれば大幅に下落する銘柄も見られます。今回のETFはこうしたボラティリティの激しい中小型株に分散投資されているため、ある程度リスクを軽減でき、かつ成長の果実を受け取ることができる金融商品といえるのではないのでしょうか。

現在、中小型株は大型株に比べて出遅れ感があるといえます。上場後の本ETFの動きに注目です。

当コラムは、投資判断の参考となる情報の提供を唯一の目的としたものになります。銘柄や金融商品の選択、投資判断の最終決定は、ご自身の判断でなされるようお願いいたします。